

線景観整備などのまち並み整備を推進してまいります。

ソフト面では、地域活動として「肥後街道宿場を歩く」などのイベントも定着しておりますので、引き続き藩境のまちづくり啓発事業など、地域住民と協働した取り組みを進めてまいります。

雇用の安定につきましては、厳しい経済情勢のなかで企業の経営安定を図るため、引き続き中小企業対策融資資金利子補給に取り組んでまいります。

また、創意工夫により継続的に働く場を創り出すふるさと雇用再生特別交付金事業、一時的な雇用・就業機会を創る緊急雇用創出事業に取り組んでまいります。

大川の魅力を高める

『くらしづくり』

市民が安全に、安心して、快適に暮らせるような生活空間の形成や医療福祉の充実、都市基盤や住環境の整備及び環境対策を推進してまいります。

まず、安全な生活空間の形成についてですが、災害等緊急時の情報を迅速かつ的確

に伝達する情報基盤の整備として、平成22年度のきめ細かな交付金を活用したコミュニティ無線システム等の整備を実質平成23年度事業として引き続き進めてまいります。

次に、安心して暮らせる医療・福祉の充実につきましては、国の施策である子ども手当のほか、平成22年度から始めた子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種補助を引き続き実施してまいります。

高齢者施策につきましては、平成24年度から3年間の介護保険事業計画を含む長寿社会対策総合計画を策定いたします。またスプリンクラー未整備のグループホームに対し、引き続き整備助成を行い、介護施設での安全安心の充実を図ってまいります。

さらに、生活支援バス運行事業を新たに実施し、障害者や65歳以上の高齢者を対象として、買い物、通院などの生活支援を行うため、無料バスを運行いたします。

次に、一日一笑運動事業についてであります。笑いは、心身の健康と免疫力の向上に直結いたします。

安全・安心な学校づくりを実現するために平成22年度のきめ細かな交付金を活用して田口小学校校舎の耐震補強を実質平成23年度事業として実施してまいります。なお、市内小学校校舎の耐震化につきましては、これをもって完了となる予定であります。

学校芝生化事業は、校庭を芝生化することにより、年間を通じた維持管理で地域との協働をすすめる、子供の心身の育成を図るものであります。引き続き温暖化防止等の環境政策という観点からも取り組んでまいります。

また学校における食育促進の一環として、中学校における給食の将来の導入に向け、具体的な課題などについての検討作業を進めてまいります。

寄宿舎型中学校につきましては、実現に向けた取り組みを進めるための市民アンケートを実施する予定であります。市民ニーズを把握し、その結果を見ながら、今後の検討を進めてまいります。

次に、芸術・文化の振興であります。全国からの参加者で賑

わります。現在、健康増進事業の一環として行っている運動、栄養、休養に「笑い」を加えることで、これまで以上に体の免疫力を高め、ストレス解消にもつなげる健康増進事業の拡充を新たに進めてまいります。

次に、快適な住まいの形成についてであります。水質保全、公衆衛生向上のため、引き続き公共下水道の整備を推進するとともに、合併処理浄化槽による汚水処理を推進いたします。

市営住宅につきましては、今後の老朽化に対する予防的な修繕、改善及び計画的な建替えを行うための公営住宅長寿命化計画を策定し、安全で快適な住まいを長きにわたって確保するための取り組みを進めてまいります。

また榎津公園の植林部分を利用した薬草公園づくり事業に取り組んでまいります。様々な薬草の用途、活用方法を明示し、大川の地に合った薬草園をつくりたい。地元の方々や来訪者などに適宜採取いただき、広く市民が薬草の恩恵を受けられるような薬草公園づくりを行うものであります。

次に、利便性の高い都市の形

わう古賀政男記念大川音楽祭につきましましては、平成24年3月の開催で第30回目を迎えます。一つの大きな節目にふさわしい、例年になく盛大なイベントとなるよう、開催の充実を図るための支援を行ってまいります。

男女共同参画の推進につきましては、新たな男女共同参画計画が平成23年度からスタートいたします。男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

大川を支える

『しくみづくり』

今後とも協働によるまちづくりと効率的な行財政の運営

成についてであります。今後とも県と連携した堤上野線などの街路事業の促進とともに、社会资本整備総合交付金事業を活用した道路の改修などに取り組みを進めます。また道路新設改良に引き続き取り組みとともに、市民生活に密接に関連した生活道路につきましましては、道路の整備、維持管理とあわせ、狭隘道路対策として集落内道路の拡幅、必要な道路幅員を確保するための住宅地等セットバック事業を推進してまいります。

総合的な環境対策の推進につきましましては、地球温暖化防止対策として、引き続き循環型社会、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

環境負荷が少ない太陽光エネルギーの活用促進を図るため、引き続き住宅用太陽光発電設備設置費補助を行ってまいります。

また老朽化しつつある大川市清掃センターの長寿命化を図るためにも、更なるごみ減量化に向け、分別収集の徹底やダンボールコンポストの普及の推進、生ごみ消化機の設置及び

を進めてまいります。

行政評価につきましては、平成22年度から外部委員のみで構成した外部評価委員会による評価を実施したところであり、今後さらに、よりよい評価をしていただくための改善を行い、更に開かれた行政に向けた取り組みを進めてまいります。

行政組織機構につきましましては、子育てに関する総合企画及び調整、子育て支援施策を総合的に司る組織としての子育て支援室を設置し、子育てしやすいマチの形を推進してまいります。

最後に、行財政改革の推進であります。平成17年度から平成

生ごみ水分を減らすためのひとしぼり運動に積極的に取り組んでまいります。

身近な環境としてのクリークにつきましましては、引き続き県と連携してクリーク防災事業、農村振興総合整備事業を促進するとともに、農村環境整備事業、用途地域内の水路の整備と市内全域における浚渫など、水路の整備及び維持管理に努めてまいります。

さらに、子どもたちに贈る未来プロジェクト事業につきましましては、子供たちにかけてがえのない地球を残すため、また、木材に縁の深いインテリア産業を基幹産業とする本市としてCO2吸収能力が高いマングローブ植林活動への援助を行うことで、地球温暖化対策に取り組む市の姿勢を明確にし、そのイメージアップにつとめてまいります。

大川を育て

『あそびづくり』

教育の充実、芸術・文化の振興と歴史的景観の保全、男女共同参画の推進などに取り組んでまいります。

21年度までの5年を期間とした集中改革プランについては主要項目のほとんどを実施し、23億8千万円の効果を上げたところであり、これを踏まえた新たな第2次集中改革プランに基づき、時代の要請にあった、より効率的、効果的な行財政運営に向けた取り組みを推進してまいります。

「大川 住んでよし 訪れてよし」と誇れるまちづくり

以上、私の所信の一端を申し述べましたが、将来に向け、産業、教育、環境、伝統・文化という4つのエンジンに市民の皆様との知恵と力という良質燃料を注入することによって推進力を得ながら、大川が飛躍するステップにつなげていきたいと考えているところであります。

これからも「大川 住んでよし、訪れてよし」、そして孫子に誇れる「大川」の再生実現のために最善をつくしてまいります。議員各位をはじめ、市民の皆様により一層のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

施政方針

教育の充実につきましては、大川の次世代を担う子どもたちに対する「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体づくり」に引き続き取り組んでまいります。

また、数学日本一を目指す事業の一環として、小・中学校における児童生徒の基礎学力向上のため、引き続き算数・数学の授業や放課後に利用できる学習サポーターを配置し、学習の支援を行ってまいります。

さらに、特定非営利活動法人である「数理の翼」のセミナーを引き続き大川市で開催いたします。新聞などのマスコミでも取り上げられたことからご存じの方も多いと思いますが、全国から集まった高校生、大学生が市内の小・中学生に講義を行うことにより、数理科学に対する興味関心を持たせ、探求心を育むなどの波及効果を期待するものであります。

教育環境の整備につきましては、学校図書室の充実を図るため、平成22年度の住民生活に光を注ぐ交付金を活用して大川小学校、大川中学校の学校図書室の整備を実質平成23年度事業として行ってまいりま

